



永井通信 ☆第14号☆

株式会社東海保険 TEL 0564-27-2533 携帯 080-6903-3880

こんにちは！(株)東海保険の永井です。お世話になっております。今回は「経済」がテーマです。アメリカでは基本的なお金の仕組み等を高校で教わるそうですが、日本でもそういう授業があったらよかったのになと感じます。今回の話は非常にザックリとしております。細かい話は外して考えてみて下さい。

★もし10人の働きの国があったら・・・★

10人で新しい国を作りました。10人はそれぞれ手に職を持っています。銀行がお金を発行しました。単位はわかり易く『円』にしておきます。まず、一人ひとりに500万円ずつ支給しました。10人なので5000万円のお金を発行しました。これで一年間、経済活動を行っていきます。

★一年間で全て使い切り、すべてに平等にいきわたったら①★

1人ひとり500万円ずつをちょうど使い切り、それぞれの商品、サービスの対価としてそれぞれが500万円を受け取ったとします。(現実にはありませんが。)そうするとこの国の国内総生産(GDP)は5000万円になります。銀行がお金を発行した額とGDPが一緒になっています。

★景気が良い状態②★

たとえば上記の経済活動を一年間ではなく半年間で行われたとしたら・・・。5000万円が2回転するわけなのでGDPは一億円になります。発行されたお金は同じ5000万円なのに、お金の回転がよくなったことによりGDPは2倍になりました。

★景気が悪い状態③★

では反対に悪い場合。同じように5000万円発行されたお金を10人に平等に500万円ずつ支給。しかし、皆、今後の心配をしていました。不安なので半分を貯金してしまっただけです。500万円のうち250万円を貯金し残りの250万円を上記と同じように使いました。250万円×10人のGDPは2500万円。①の状態の半分のGDPしか稼げませんでした。

★ここからわかる事★

GDPは税金にも非常に強く関係してきます。税率が同じなら景気が良い方が税金が増えていきます。ですから、税金をあげるにはGDPをあげることが重要です。政府がする景気対策として、お金を給付しても国民が貯蓄して消費をしないような政策よりも、消費も兼ねてお金がどんどん回るような政策をしたほうが経済政策的には優秀といえます。

※本通信を今後要らない方は、お手数ですが私までお申し付けください。よろしく申し上げます。

ホームページをリニューアルしました。バックナンバーも公開中！ ⇒ 『東海保険』で検索



福祉は天から降ってこない



★福祉は経済成長によってしか充実しない★

非常に大事な点です。日本の福祉を充実させるには政府が社会保障に費やす原資を増やすしかありません。(当たり前ですが。.)その原資は税や社会保険料ですが、それらの源はGDP(国内総生産)です。国債を発行し、財源に充てることもできますが国債もGDPから生まれた貯蓄を政府が借り入れる事ですのでやはりGDPは重要です。

★日本とは立場が違いますが・・・★

近年のギリシャのように政府が外国に国債を発行し、社会保障の財源に充てることもできます。(これは「外国のGDP」をギリシャ政府が借りていることでこれもGDPが関係してきます。)日本も戦後、お金が無いときには世界銀行から借入を行い、東海道新幹線や高速道路などのインフラ整備をしてきました。これらの借入の返済も結局GDPが原資になるのです。成長の為の借入ではGDPを押し上げる効果があるので返済もしやすくなりますが、社会保障のための借入では返済のために必要なGDPの拡大が達成されにくいのです。日本も今後、社会保障費の財源不足が指摘されていますので経済成長をしてGDPをあげていかなければならないのです。

★国内総生産(GDP)★

税金の原資になるのはあくまで『国内』総生産です。日本企業の海外進出はGDPの海外移転という一面もあるのです。

発行者プロフィール

名前 : 永井 教盟 (ながい のりちか)
誕生日 : 昭和54年12月23日 出身地 : 幡豆
趣味 : 読書(最近メンタリストDaiGoが面白い!)
経歴 : 2008年12月、保険業界へ転職
資格 : 生保協会認定FP LCQS協会認定証券診断士
相続診断士 住宅ローンアドバイザー

生命保険かけこみ相談室(080-6903-3880)

- 相続対策を父がしてくれない場合にする事。
- 名義預金ではないことを証明する生命保険。
- 相続税調査の電話がかかってきたら貸金庫を触ってはいけない。
- 「なんでも鑑定団」に出演して。。。。
- 会社のお金は誰のもの？

そのお悩み解決できます！ p(^ ^)q